

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2018年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期見通し

2018年2月9日
オリンパス株式会社
取締役副社長執行役員 CFO
竹内 康雄

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

IFRS任意適用について

- 当社グループは2018年3月期第1四半期連結累計期間の連結財務諸表より、国際財務報告基準（“IFRS”）を任意適用しています。
- 比較分析のため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましてもIFRSに準拠して表示しています。

第3四半期実績

- 売上高：医療事業が牽引。3Q累計は前年同期比+8%、四半期では同+11%を達成
- 医療事業：第3四半期として過去最高の売上高を更新。主力の消化器内視鏡が回復
- 利益：為替の円安を追い風に、全利益項目で増益を達成

通期業績見通し

- 連結全体では売上高・営業利益・税引前利益いずれも、従来の年間見通しに変更なし
- 当期利益は、米国税制改革に伴う法人所得税の減少を見込み、上方修正

2018年3月期 第3四半期 連結業績および事業概況

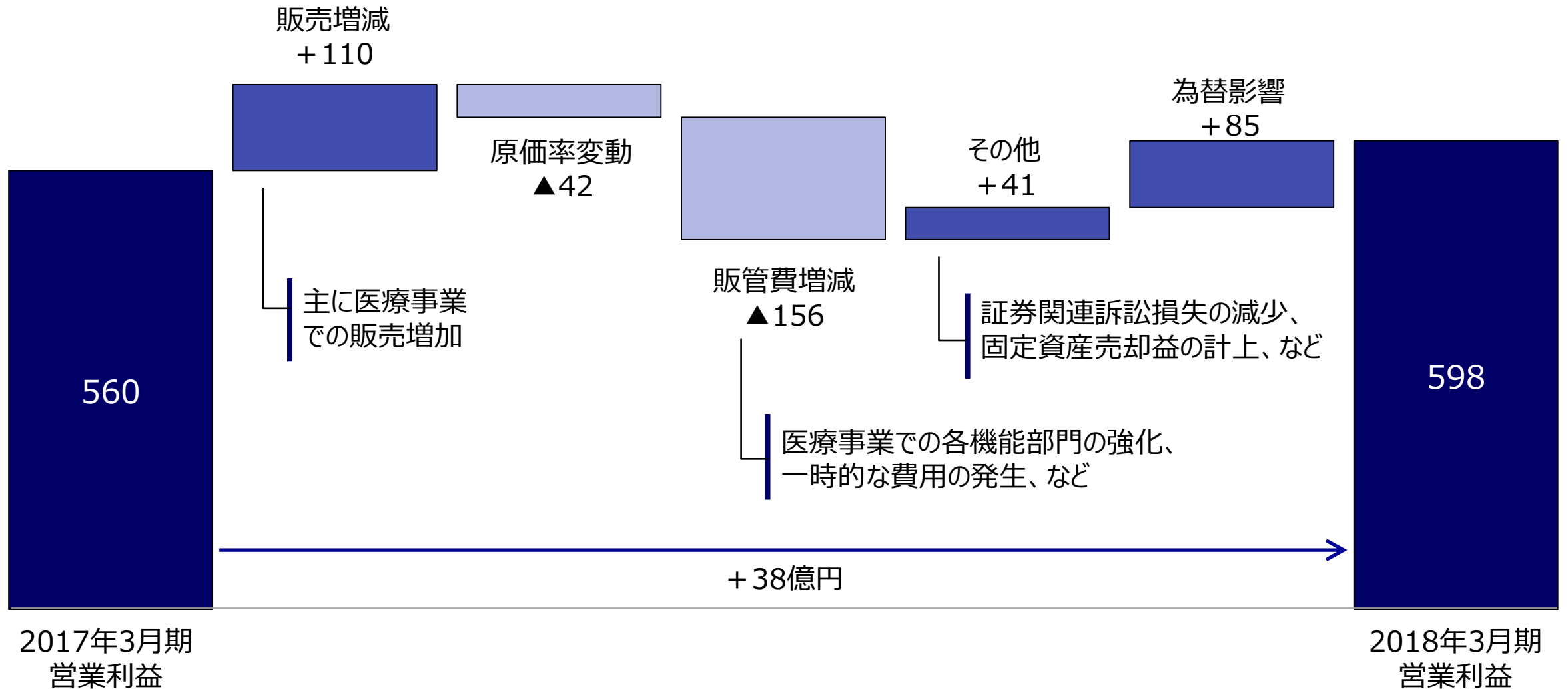
2018年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

- ① 売上高：医療事業が牽引し、円ベース、為替影響調整後のいずれも増収を達成
- ② 利益：円安を追い風に各利益項目で増益。当期利益は金融収支の改善や税金費用の減少等により2桁の増益

(単位：億円)	3Q累計実績 (4-12月)				3Q実績 (10-12月)			
	2017年 3月期	2018年 3月期	前年同期比	為替影響 調整後	2017年 3月期	2018年 3月期	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	5,318	5,721	① +8%	+3%	1,831	2,026	① +11%	+5%
売上総利益 (売上総利益率)	3,466 (65.2%)	3,729 (65.2%)	+8%	+2%	1,190 (65.0%)	1,312 (64.7%)	+10%	+2%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	2,835 (53.3%)	3,102 (54.2%)	+9%	+6%	959 (52.4%)	1,067 (52.7%)	+11%	+7%
その他の収益および費用等	▲71	▲29	-	-	▲26	▲20	-	-
営業利益 (営業利益率)	560 (10.5%)	598 (10.5%)	② +7%	▲8%	205 (11.2%)	224 (11.1%)	② +9%	▲18%
税引前利益 (税引前利益率)	489 (9.2%)	557 (9.7%)	+14%		178 (9.7%)	205 (10.1%)	+15%	
当期利益* (当期利益率)	395 (7.4%)	480 (8.4%)	+22%		159 (8.7%)	182 (9.0%)	+15%	
円/USドル	107円	112円			109円	113円		
円/Euro	118円	129円			118円	133円		

2018年3月期 第3四半期実績 ①連結営業利益増減要因

第3四半期累計実績（4-12月）

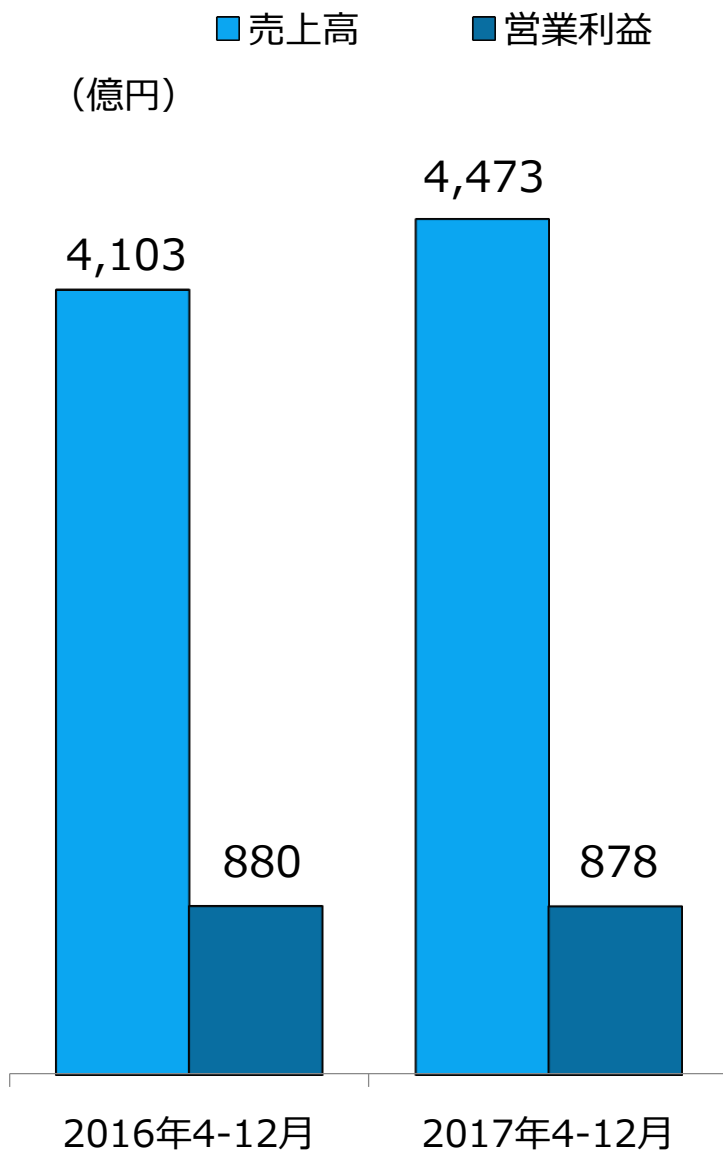


2018年3月期 第3四半期実績 ②セグメント別概況

- 医療：第3四半期として過去最高の売上高を更新し、全社の業績を牽引
- 科学：上期より順調な成長トレンド・営業増益が継続し、10%増収
- 映像：3Q累計ではミラーレスの増収により、黒字を確保

(単位：億円)		3Q累計実績 (4-12月)				3Q実績 (10-12月)			
		2017年3月期	2018年3月期	前年同期比	為替影響調整後	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比	為替影響調整後
医療	売上高	4,103	4,473	+9%	+4%	1,386	1,580	+14%	+8%
	営業利益	880	878	0%	▲8%	283	324	+14%	▲2%
科学	売上高	635	700	+10%	+5%	231	254	+10%	+4%
	営業利益	19	35	+88%	+33%	21	23	+9%	▲28%
映像	売上高	468	473	+1%	▲3%	183	167	▲8%	▲14%
	営業利益	8	15	+77%	+38%	22	▲1	▲23億円	▲26億円
その他	売上高	112	75	▲33%	▲34%	31	25	▲20%	▲21%
	営業利益	7	▲28	▲36億円	▲35億円	30	▲16	▲46億円	▲46億円
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲355	▲302	+54億円	+52億円	▲150	▲105	+45億円	+45億円
連結合計	売上高	5,318	5,721	+8%	+3%	1,831	2,026	+11%	+5%
	営業利益	560	598	+7%	▲8%	205	224	+9%	▲18%

2018年3月期 第3四半期実績 ③医療事業



(単位：億円)	3Q累計 (4-12月)				3Q (10-12月)			
	2016年 4-12月	2017年 4-12月	前年 同期比	為替影響 調整後	2016年 10-12月	2017年 10-12月	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	4,103	4,473	+9%	+4%	1,386	1,580	+14%	+8%
内視鏡	2,291	2,421	+6%	+1%	765	856	+12%	+7%
外科	1,297	1,455	+12%	+7%	444	514	+16%	+10%
処置具	515	596	+16%	+8%	177	209	+19%	+10%
営業利益	880	878	0%	▲8%	283	324	+14%	▲2%
営業利益率	21.5%	19.6%		18.9%	20.4%	20.5%		18.6%

売上高

- ✓ 内視鏡：販促強化の効果もみられ、製品サイクル後半の先進国で回復基調
- ✓ 外科： 外科内視鏡、エネルギーデバイスのいずれも堅調に推移
- ✓ 処置具：全地域で堅調に推移、3Q累計、3Qいずれも2桁成長

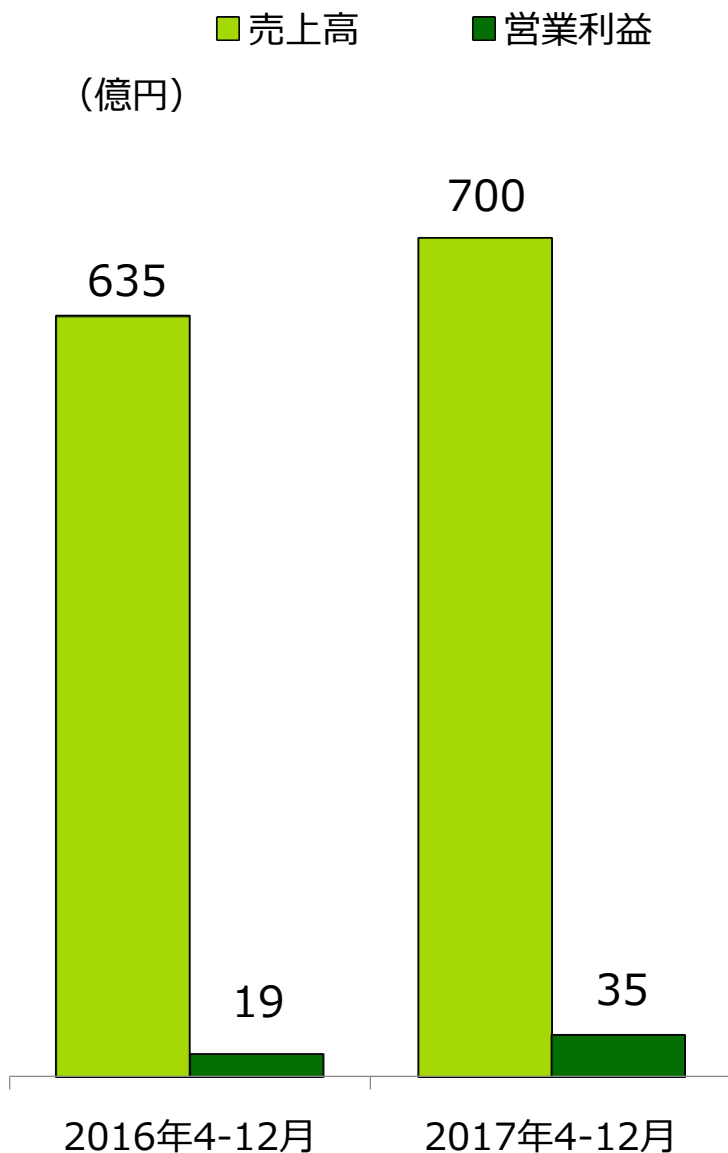
営業利益

- ✓ 前年並みの利益水準を確保
- ✓ プロダクトミックスの変化により粗利率が低下
- ✓ サービス・販売体制の強化等の費用支出により販管費が増加

2018年3月期 第3四半期実績 ③医療事業

分野	地域	現地通貨別成長率				分野別の状況
		2018年3月期				
		1Q	2Q	3Q	3Q累計	
消化器 内視鏡	日本	▲6%	+1%	+2%	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> 日欧：セールスプロモーションを強化し販売増加に寄与 北米：保守サービスを含めた販売施策の強化に加え、12月より新たなセールsprogramを開始 アジア・オセアニア：特に好調な中国が牽引
	北米	▲1%	▲4%	+2%	▲1%	
	欧州	▲6%	▲8%	+2%	▲4%	
	豪亜	+13%	+4%	+21%	+12%	
	全地域	0%	▲2%	+7%	+1%	
外科	日本	+3%	+6%	+14%	+7%	<ul style="list-style-type: none"> 日欧：「VISERA ELITE II」の新製品効果および、エネルギーデバイスが好調に推移し、大幅成長 北米：主力製品がサイクル後半となる中、4K外科内視鏡を中心に販売増加。IDN*の取り組み強化により、新規契約を獲得。 <p style="text-align: right;">*IDN(Integrated Delivery Network)：総合医療ネットワーク</p>
	北米	▲1%	0%	+4%	+1%	
	欧州	+6%	+14%	+16%	+12%	
	豪亜	+18%	+16%	+5%	+13%	
	全地域	+4%	+7%	+10%	+7%	
処置具	日本	+8%	+9%	+9%	+9%	<ul style="list-style-type: none"> 全地域でERCP*（胆膵領域：特にガイドワイヤ）の製品が堅調 特に中国を中心とした、アジア・オセアニアが好調 <p style="text-align: right;">*ERCP：内視鏡的逆行性胆管膵管造影</p>
	北米	+5%	+2%	+9%	+5%	
	欧州	▲1%	+3%	+5%	+2%	
	豪亜	+23%	+20%	+15%	+19%	
	全地域	+7%	+8%	+10%	+8%	

2018年3月期 第3四半期実績 ④科学事業



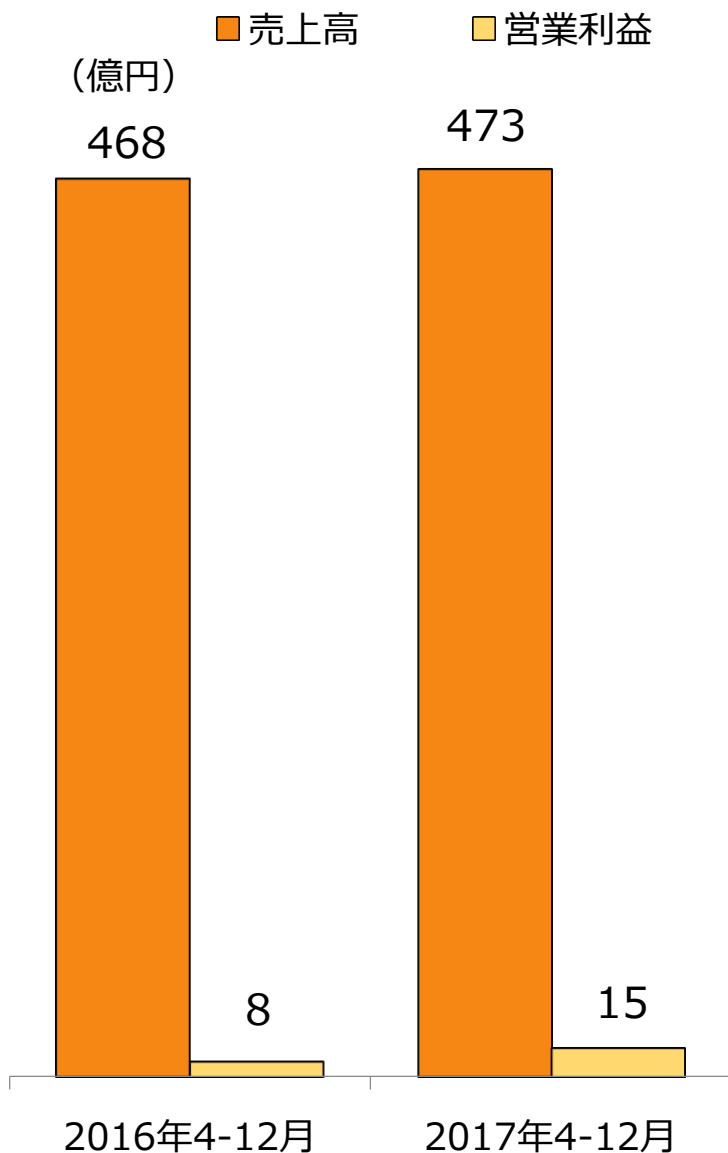
(単位：億円)	3Q累計 (4-12月)				3Q (10-12月)			
	2016年 4-12月	2017年 4-12月	前年 同期比	為替影響 調整後	2016年 10-12月	2017年 10-12月	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	635	700	+10%	+5%	231	254	+10%	+4%
営業利益	19	35	+88%	+33%	21	23	+9%	▲28%
営業利益率	2.9%	5.0%		3.7%	8.9%	8.9%		6.2%

売上高

営業利益

- ✓ 海外を中心に産業分野の販売が好調に推移し3Q累計で10%増収（為替影響調整後では+5%）
 - ・日本：生物顕微鏡の販売が順調
 - ・北米：非破壊検査機器が売上を牽引
 - ・欧州：昨年投入したX線分析計の大口受注が売上に寄与
 - ・中国：半導体や電子部品検査向けの工業用顕微鏡等が好調
- ✓ 3Q累計では、増収効果に加え販促費の削減により大幅増益

2018年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業



(単位：億円)	3Q累計 (4-12月)				3Q (10-12月)			
	2016年 4-12月	2017年 4-12月	前年 同期比	為替影響 調整後	2016年 10-12月	2017年 10-12月	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	468	473	+1%	▲3%	183	167	▲8%	▲14%
ミラーレス	341	366	+7%	+2%	146	133	▲9%	▲14%
コンパクト	86	69	▲19%	▲23%	24	22	▲7%	▲12%
その他	41	38	▲7%	▲11%	13	12	▲8%	▲12%
営業利益	8	15	+77%	+38%	22	▲1	▲23億円	▲26億円
営業利益率	1.8%	3.2%		2.6%	12.0%	-		-

売上高

営業利益

- ✓ OM-Dシリーズを中心に2016年後半より販売を開始したミラーレス一眼が7%増収となり、映像事業全体の増収に寄与
- ✓ 3Q(10-12月)は、ミラーレスの販売が減少したことから、映像事業全体で減収
- ✓ 収益性の高いミラーレス一眼の販売構成比が増えたことに加え、販促活動、研究開発等のコントロールにより3Q累計で15億円の黒字を確保
- ✓ 3Qは販促費をコントロールするもミラーレスの販売減収により、損益が悪化

財政状態計算書

- 資本 : 当期利益480億円の計上により利益剰余金が増加
- 自己資本比率 : 利益剰余金の増加および有利子負債を圧縮したことで45.6%に

(単位：億円)	2017年 3月末	2017年 12月末	増減額
流動資産	5,057	5,176	+118
棚卸資産	1,253	1,471	+218
非流動資産	4,543	4,741	+198
有形固定資産	1,597	1,705	+107
無形資産	759	770	+11
のれん	956	1,033	+77
資産 合計	9,600	9,916	+316

	2017年 3月末	2017年 12月末	増減額
流動負債	2,865	2,974	+109
社債及び借入金	688	897	+209
非流動負債	2,774	2,407	▲367
社債及び借入金	2,172	1,731	▲441
資本	3,962	4,536	+573
自己資本比率	41.1%	45.6%	+4.5pt
負債及び資本 合計	9,600	9,916	+316

有利子負債：2,628億円（2017年3月末比▲232億円）

連結キャッシュフロー計算書

- FCF：ISM社*買収により87億円支出した一方、投資有価証券売却や土地建物売却などによる収入により、181億円を確保

第3四半期累計実績

(単位：億円)	2017年3月期	2018年3月期	増減
売上高	5,318	5,721	+403
営業利益	560	598	+38
営業利益率	10.5%	10.5%	0pt
営業キャッシュフロー	717	602	▲114
投資キャッシュフロー	▲460	▲422	+38
フリーキャッシュフロー	256	181	▲76
財務キャッシュフロー	▲244	▲362	▲118
現金及び現金同等物期末残高	1,668	1,867	+199
減価償却費	397	396	▲2
設備投資額	489	457	▲33

2018年3月期 通期業績見通し

通期見通し ①連結業績

- 売上高・営業利益・税引前利益のいずれも、従来の年間見通しに変更なし
- 当期利益は、米国税制改革に伴う法人所得税の減少を見込み、30億円上方修正

(単位：億円)	2018年3月期 11月8日公表見通し	2018年3月期 (最新見通し)	増減	前回見通し比	為替影響調整後 前回見通し比	2017年3月期
売上高	7,840	7,840	-	-	▲1%	7,406
売上総利益 (売上総利益率)	5,190 (66.2%)	5,200 (66.3%)	+10	0%	▲1%	4,785 (64.6%)
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,280 (54.6%)	4,300 (54.8%)	+20	0%	0%	3,977 (53.7%)
その他の収益および費用等	▲50	▲40	+10	-	-	▲96
営業利益 (営業利益率)	860 (11.0%)	860 (11.0%)	-	-	▲3%	712 (9.6%)
税引前利益 (税引前利益率)	790 (10.2%)	790 (10.2%)	-	-	-	625 (8.4%)
当期利益* (当期利益率)	600 (7.7%)	630 (8.0%)	+30	+5%	-	428 (5.8%)
EPS	175円	184円				
円/USドル	111円	111円	-			
円/Euro	126円	128円	+2円(円安)			

2018年3月期年間配当

期末配当28円を予定
(変更なし)

通期見通し ②セグメント別業績

- 為替前提を一部円安に見直したことにより、医療事業の売上高を上方修正（実質では据え置き）
- 映像事業は、3Q実績をふまえて売上高、営業利益を下方修正

(単位：億円)		2018年3月期 11月公表見通し	2018年3月期 最新見通し	増減額	前回 見通し比	為替影響 調整後見通し比	2017年3月期 通期実績	前期比	為替影響 調整後前期比
医療	売上高	6,130	6,160	+30	0%	0%	5,704	+8%	+4%
	営業利益	1,300	1,300	-	-	▲2%	1,147	+13%	+5%
科学	売上高	970	970	-	-	▲1%	934	+4%	0%
	営業利益	60	60	-	-	▲4%	59	+1%	▲21%
映像	売上高	650	620	▲30	▲5%	▲5%	628	▲1%	▲5%
	営業利益	20	10	▲10	▲50%	▲56%	2	+553%	+66%
その他	売上高	90	90	-	-	0%	140	▲36%	▲37%
	営業利益	▲60	▲60	-	-	-	▲11	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲460	▲450	+10	-	-	▲485	-	-
合計	売上高	7,840	7,840	-	-	▲1%	7,406	+6%	+2%
	営業利益	860	860	-	-	▲3%	712	+21%	+6%

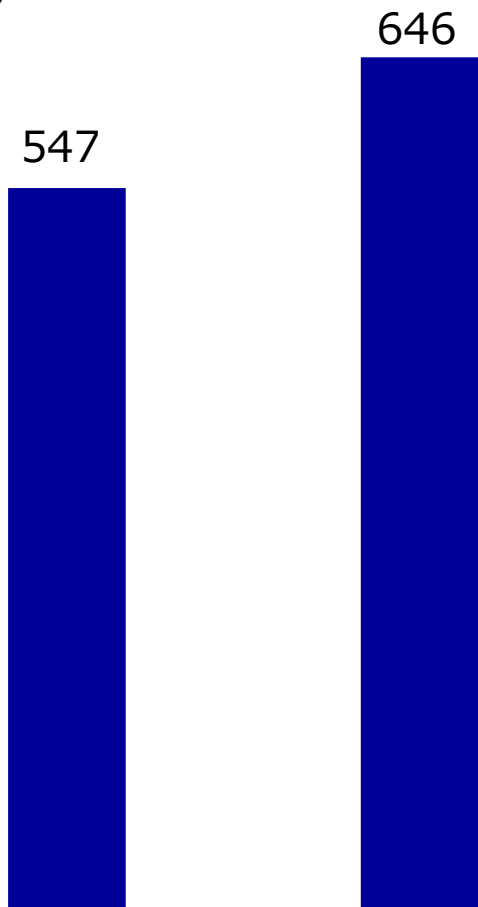
OLYMPUS

Appendix

【参考資料】研究開発費

研究開発費（前年同期比）

（億円）



2017年3月期
3Q累計

2018年3月期
3Q累計

研究開発費詳細

（単位：億円）	2017年3月期			2018年3月期（*1）		
	3Q	3Q累計	通期	3Q	3Q累計	通期見通し
研究開発費 （対売上高比率）	172 (9.4%)	547 (10.3%)	792 (10.7%)	174 (8.6%)	646 (11.3%)	840 (10.7%)

ご参考

（単位：億円）	2017年3月期		2018年3月期	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
開発費資産化(*2)	15	36	22	77
償却費	13	35	17	46

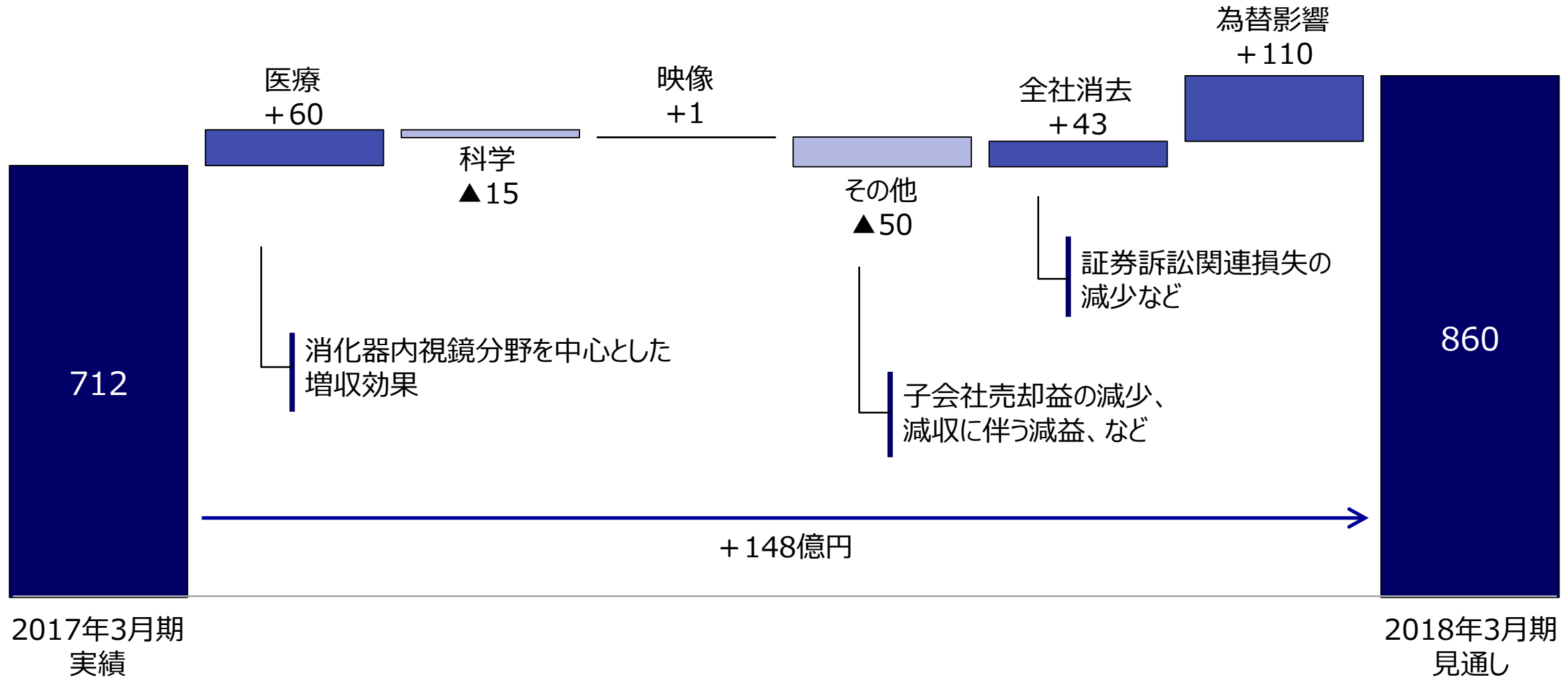
	2016年12月末	2017年12月末
開発資産残高	293	320

（*1）全子会社で親会社と同様の発生基準に統一したベース

（*2）開発費資産化の数値は上段の研究開発費に含まれています

【参考資料】通期見通し 営業利益の増減分析（前年同期比）

通期実績（4-3月）



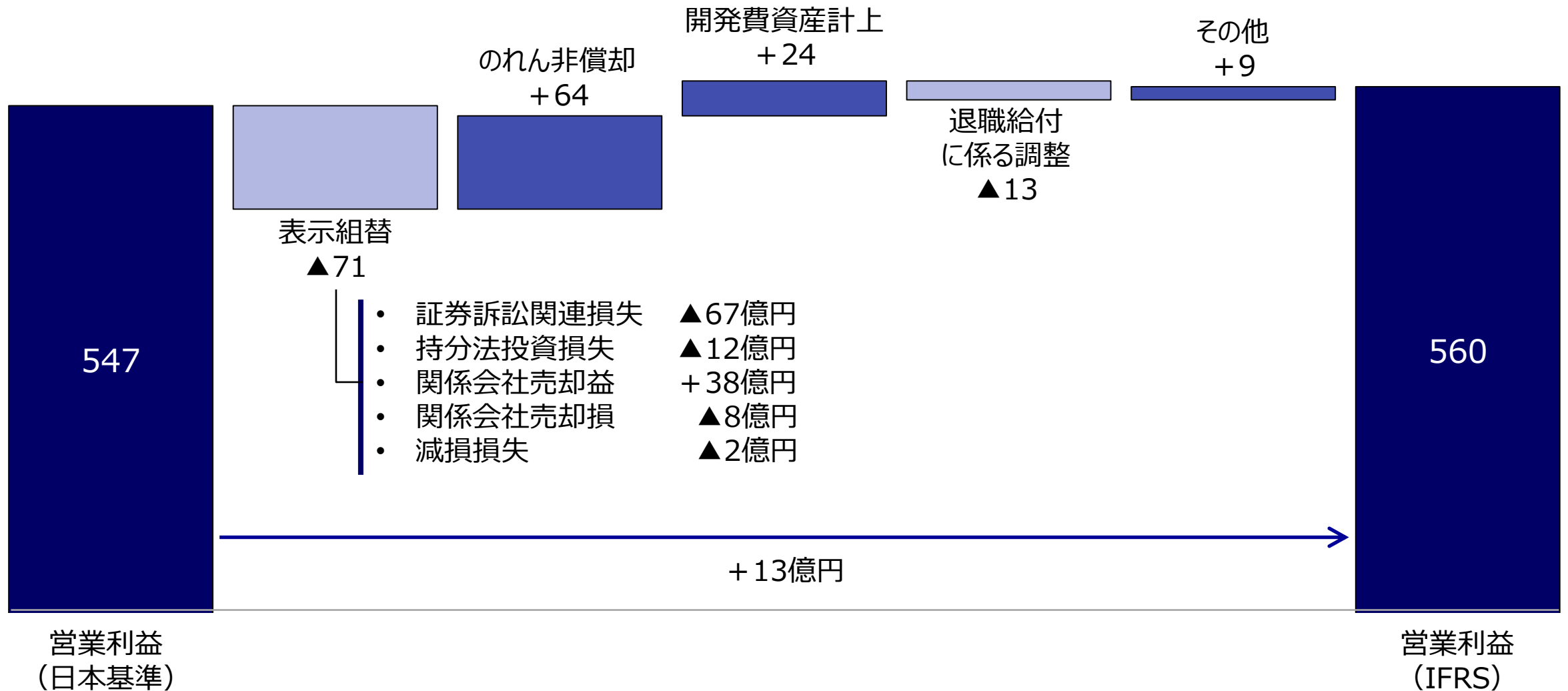
【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 第3四半期 ①連結業績

第3四半期累計実績 (4-12月)

(単位：億円)	2017年3月期実績 (日本基準)	2017年3月期実績 (IFRS)	差異
売上高	5,335	5,318	▲17
営業利益	547	560	+12
税引前利益 [IFRS] 税金等調整前当期純利益 [日本基準]	410	489	+80
親会社の所有者に帰属する当期利益 [IFRS] 親会社株主に帰属する当期純利益 [日本基準]	411	395	▲16

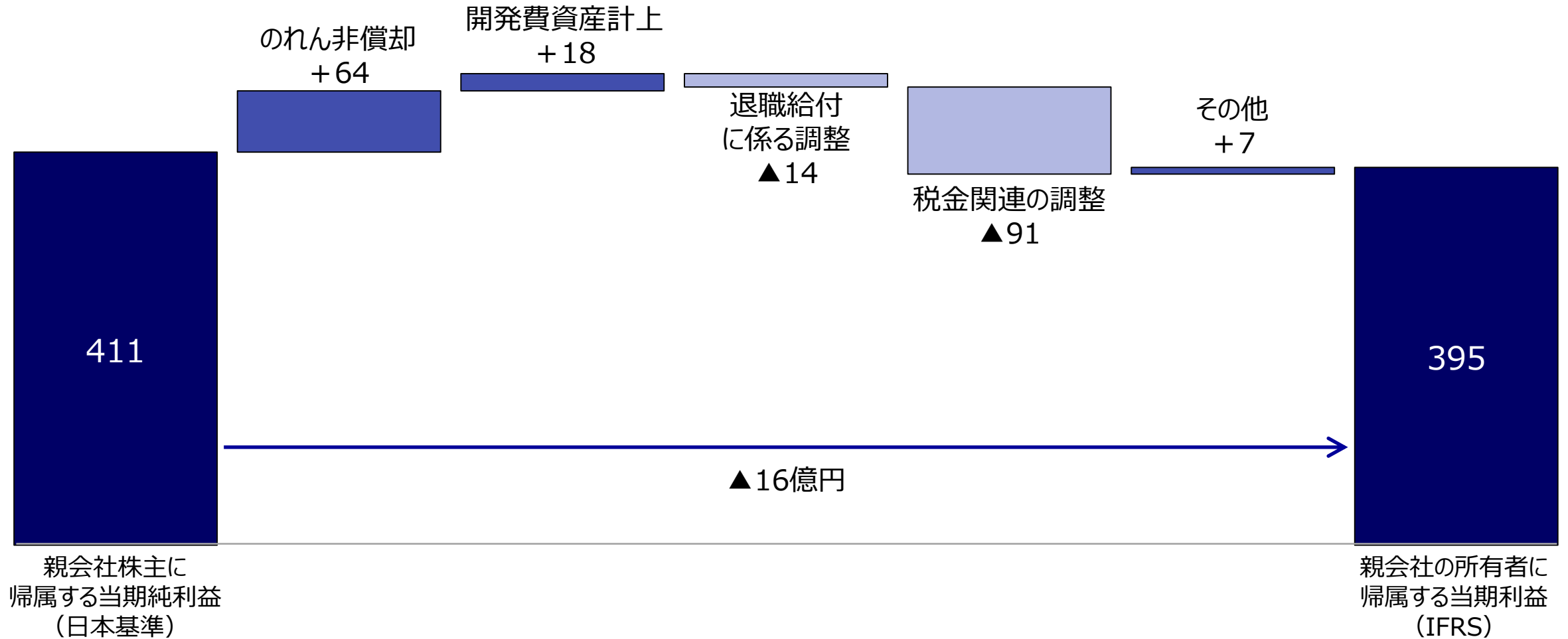
【参考資料・IFRS比較】 2017年3月期 第3四半期 ②営業利益増減分析

第3四半期累計実績（4-12月）



【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 第3四半期 ③当期利益増減分析

第3四半期累計実績（4-12月）



【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 第3四半期 ④セグメント別業績

第3四半期累計実績（4-12月）

(単位：億円)		2017年3月期実績 (日本基準)	2017年3月期実績 (IFRS)	差異
医療	売上高	4,103	4,103	0
	営業利益	828	880	+52
科学	売上高	633	635	+2
	営業利益	13	19	+6
映像	売上高	488	468	▲20
	営業利益	7	8	+1
その他	売上高	111	112	+1
	営業利益	▲29	7	+36
全社・消去	売上高	-	-	-
	営業利益	▲271	▲355	▲84
連結合計	売上高	5,335	5,318	▲17
	営業利益	547	560	+13

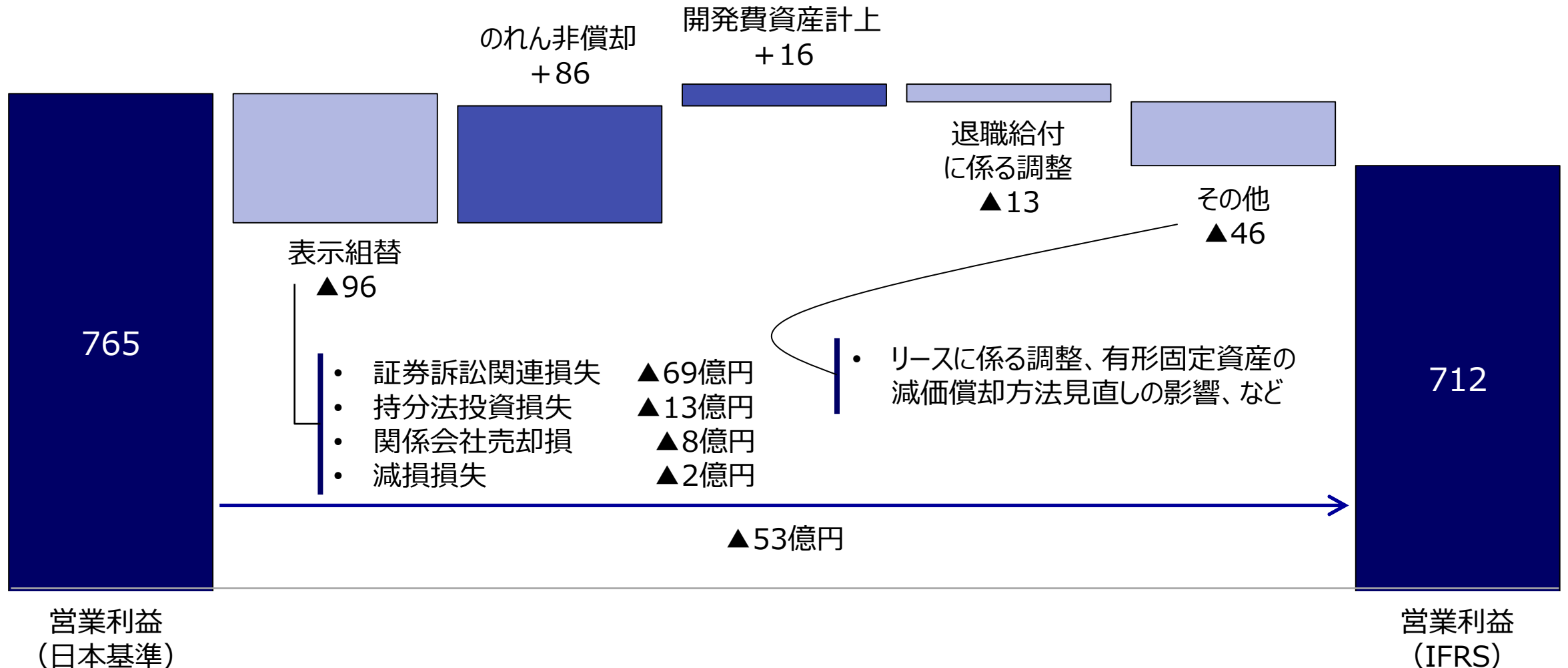
【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 通期 ①連結業績

通期実績 (4-3月)

(単位：億円)	通期実績 (4-3月)		差異
	2017年3月期実績 (日本基準)	2017年3月期実績 (IFRS)	
売上高	7,481	7,406	▲75
営業利益	765	712	▲53
税引前利益 [IFRS] 税金等調整前当期純利益 [日本基準]	817	625	▲192
親会社の所有者に帰属する当期利益 [IFRS] 親会社株主に帰属する当期純利益 [日本基準]	782	428	▲354

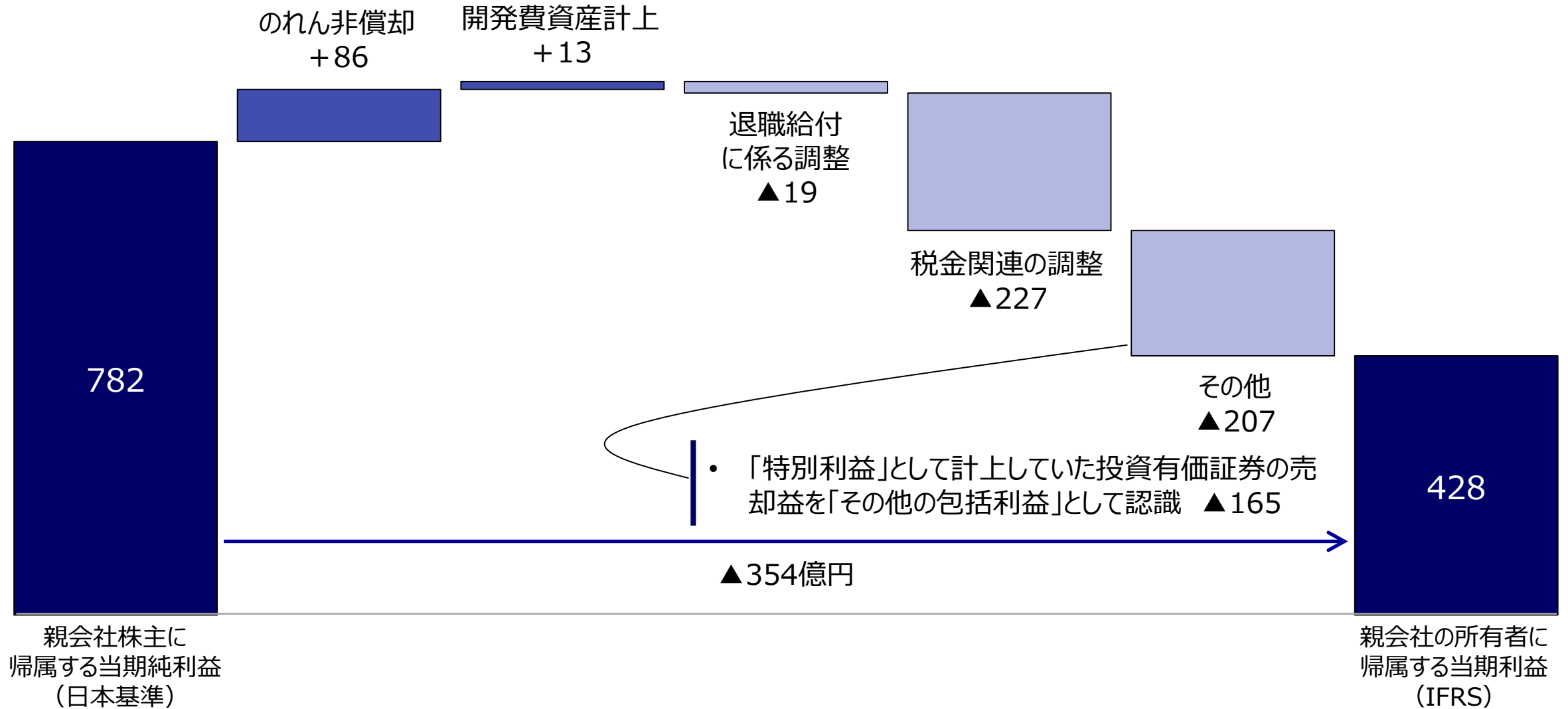
【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 通期 ②営業利益増減分析

通期実績（4-3月）



【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 通期 ③当期利益増減分析

通期実績（4-3月）



【参考資料・IFRS比較】2017年3月期 通期 ④セグメント別業績

通期実績 (4-3月)

(単位：億円)		通期実績 (4-3月)		差異
		2017年3月期実績 (日本基準)	2017年3月期実績 (IFRS)	
医療	売上高	5,753	5,704	▲49
	営業利益	1,155	1,147	▲8
科学	売上高	932	934	+2
	営業利益	53	59	+6
映像	売上高	656	628	▲28
	営業利益	5	2	▲3
その他	売上高	140	140	0
	営業利益	▲46	▲11	+35
全社・消去	売上高	-	-	-
	営業利益	▲402	▲485	▲83
連結合計	売上高	7,481	7,406	▲75
	営業利益	765	712	▲53